学校番号	306

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	『日本史探究』（実教出版）						
副教材等	『図説　日本史通覧』（帝国書院） 『要点整理　ゼミナール日本史』（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史探究は、現代までの日本列島の中でも人々の歩みを探るものですが、その歩みは様々な地域との交流の中で、その影響を受けつつ展開してきたものです。したがって、日本史を学ぶ場合、いつの時代についても、周辺の国々をはじめとする各地域の歴史や、日本と諸外国との関係に目を向けていく必要があります。

日本史の学習というとき、いくつかの間違った姿勢があります。その一つは、ただ重要語句を暗記することだけが歴史の勉強のように考えてしまうことです。そうではなく、歴史の大きな流れを理解し、その当時を生きた人々の感情を思い浮かべながら、これからの未来に向かい私たちがどのように生けていけばよいのか、しっかりと考えてほしいと思っています。教科書だけではなく、興味をもって分野について書籍を読む、ドキュメンタリー番組や映画、テレビのドラマを観るなど広い視野を持って勉強に取り組んでください。

次に、歴史を学ぶ目的は、過去に学び、そこから現代の課題を知り、よりよい未来を創るためのヒントを得ることです。ですから、現代の課題は何かということを考えることは、とても重要なことになります。たとえば、現在、様々な災害や病気の流行に悩まされています。これは、歴史的に遡ってもそうなのであって、過去の歴史に数多くの考えるべきヒントがあります。ジェンダー・フリーの問題もそうです。ＳＤＧｓのような目標を達成するヒントが過去の中にもあります。文化財の保存と継承、戦争の惨禍をどう防ぐか、などの課題があります。

そんなことを楽しみながら学習し、よりよい未来にしていくためにはどうしたら良いのか考えていければいいと思っています。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民として、観点別に資質・能力を育むことをめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけようとしている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりしようとしている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を育むとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第Ⅰ部　原始・古代	第１章 日本文化のあけぼの １　文化の始まり ２　農耕社会の成立	a:日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を自然環境の変化や大陸との影響に着目し理解している。また、水稲農作の開始・金属器の伝来が弥生文化に与えた影響を理解している。 b:考古資料や文献資料をもとに、その時代に生活して人々の社会について考察し、その結果を表現している。 c:旧石器時代から弥生時代にかけての日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、各時代の文化の特色を明らかにしようとしている。	試験 試験	試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表
		第２章 古墳とヤマト政権 １　古墳文化の展開	a:国家の形成から推古天皇・厩戸王・蘇我馬子の政権運営について、中国大陸や朝鮮半島との関係に注目して理解している。 b:考古資料や中国歴史書などから中国大陸・朝鮮半島との交流の	試験	試験	ワーク・発表

		2　飛鳥の朝廷	意味を多面的に考察・表現することができる。 c:古代の中国大陸・朝鮮半島と日本との関係について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験	試験	試験
		第３章 律令国家の形成 1　律令国家への道 2　平城京の時代 3　律令国家の文化 4　律令国家の変容	a:.隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目し、律令体制の成立過程などを理解している。 b:文献資料をもとに、律令体制の整備過程や、藤原氏を中核とする政治抗争の進展について、考察し適切に表現することができる。 c:平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。	試験 試験 試験 試験	試験 試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表
2学期	第Ⅱ部　中世	第４章 貴族政治の展開 1　摂関政治 2　国風文化 3　地方政治の展開と武士	a:藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 b:文献資料をもとに、奈良時代の政治と平安初期の政治を比較しながら、摂関政治の特色について考察し、表現することができる。 c:唐の衰退と東アジアとの関係の変化や社会の変化が日本社会に与えた影響について考察し、摂関政治の社会の特色を明らかにしようとしている。	試験 試験 試験	試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表
		第５章 院政と武士の躍進 1　院政の始まり 2　院政と平氏政権	a:貴族政治や土地制度の変容などに調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 b:武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを文献資料をもとに考察し、古代から中世への時代の転換について考察し、表現することができる。 c:中世社会の特色について多面的・多角的に考察し、中世社会の特色を明らかにしようとしている。	試験 試験	試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表

		第６章 武家政権の成立 １　鎌倉幕府の成立 ２　武士の社会 ３　モンゴル襲来と幕府の衰退 ４　鎌倉文化	a:諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 b:武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を文献資料から読み取り考察し、根拠を明確にしながら表現することができる。 c:公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について自分が抱いた興味・関心や疑問について見通しを持って学習に取り組もうとしている。	試験 試験 試験 試験	試験 試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表 ワーク・発表
３学期		第７章 武家社会の成長 １　室町幕府の成立 ２　幕府の衰退と庶民の台頭 ３　室町文化 ４　戦国大名の登場	a:鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 b:南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。	試験 試験 試験 試験	試験 試験 試験 試験	ワーク・発表 ワーク・発表 試験 試験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度